

経鼻内視鏡（鼻からの胃カメラ）検査について

2021年1月より、精度の高い経鼻内視鏡の導入により、ピロリ除菌後の方や、食道・胃・十二指腸の治療歴がある方も、経鼻内視鏡での施行が可能となりました。

ー メリット ー

鼻腔用カメラは、口腔用カメラに比べ細くなっており、鼻から入れることで咽頭反射（嘔気）を軽減することができます。また、検査中も会話がしやすくなります。とりわけ、今まで口からの胃カメラにより強い嘔吐反射ため辛い思いをしたり、それが原因で鎮静剤を使用していた方におすすめの検査方法です。（経鼻内視鏡の場合は、鎮静剤を使用しません）

ー デメリット ー

鼻腔をカメラが通るため、鼻の痛みや鼻出血が起きやすいことがあげられます。

なお、以下に該当する方につきましては、従来どおりの口からの内視鏡検査をご案内しています。

□ 鼻腔に異常のある方

鼻の術後や花粉症で鼻が詰まっている方は検査が難しい場合があります。

経鼻内視鏡検査のご希望の方につきましては、お申し込みの際に、「経鼻希望」とお伝えください。

以上、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

社会医療法人健和会

健和会病院

KENWAKAI HOSPITAL

健康管理課

〒395-8522 長野県飯田市鼎中平1936

TEL: 0265-23-3153

FAX: 0265-23-3276